

参考 参議院予算委員会視察時資料

**国土交通省大阪航空局**  
**資料**

**平成 29 年 3 月 16 日**

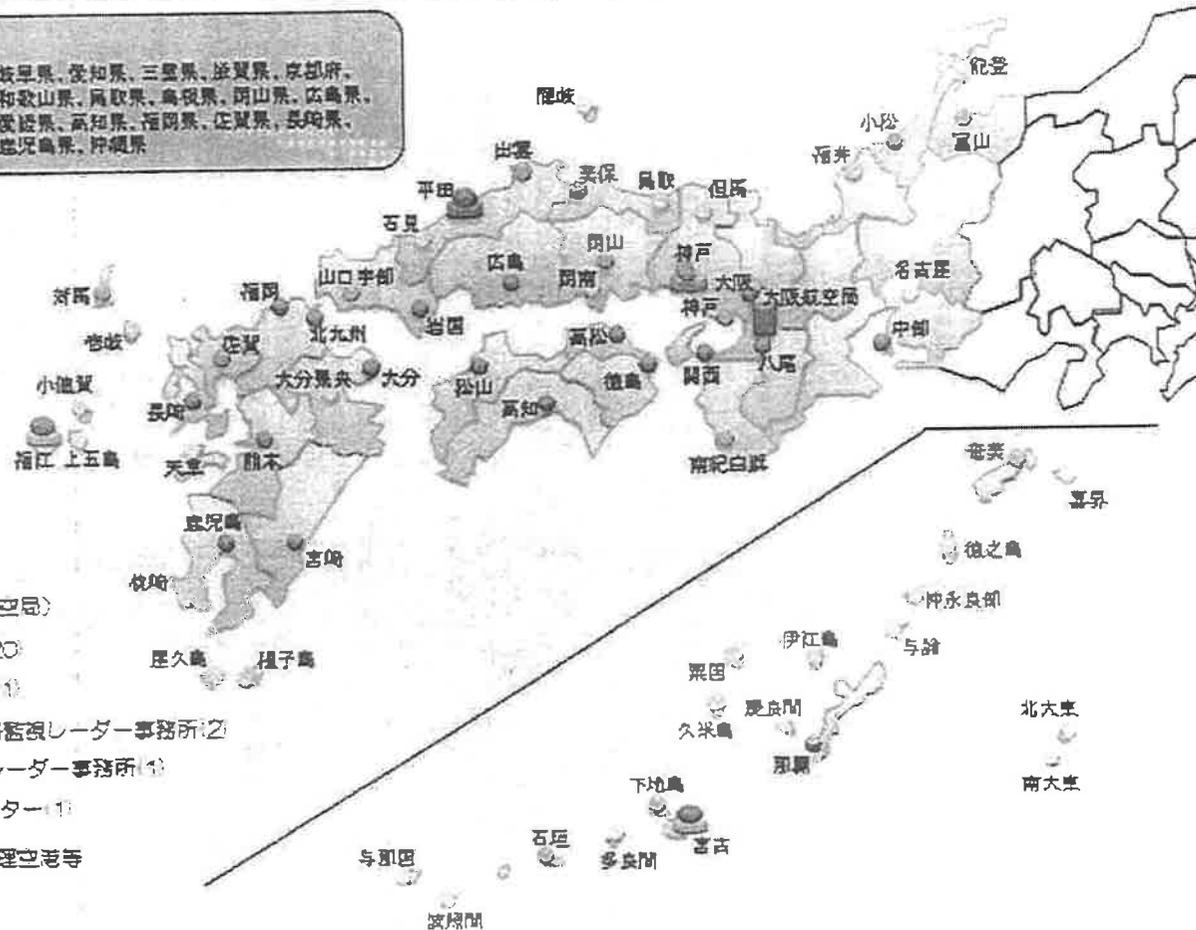
# 大阪航空局の業務

大阪航空局は、昭和42年(1967年)10月1日に運輸省設置法の一部改正により、航空行政の現場部門を統括する地方支分部局として、東京航空局とともに設置されました。

以来、航空輸送が目覚ましい発展を遂げる中で、西日本における航空行政を担い、空港の整備や維持管理・航空機が安全に運航するための管制業務や施設の整備・航空に関する各種試験や検査の実施・航空機の騒音対策などを行っています。

<2府27県>

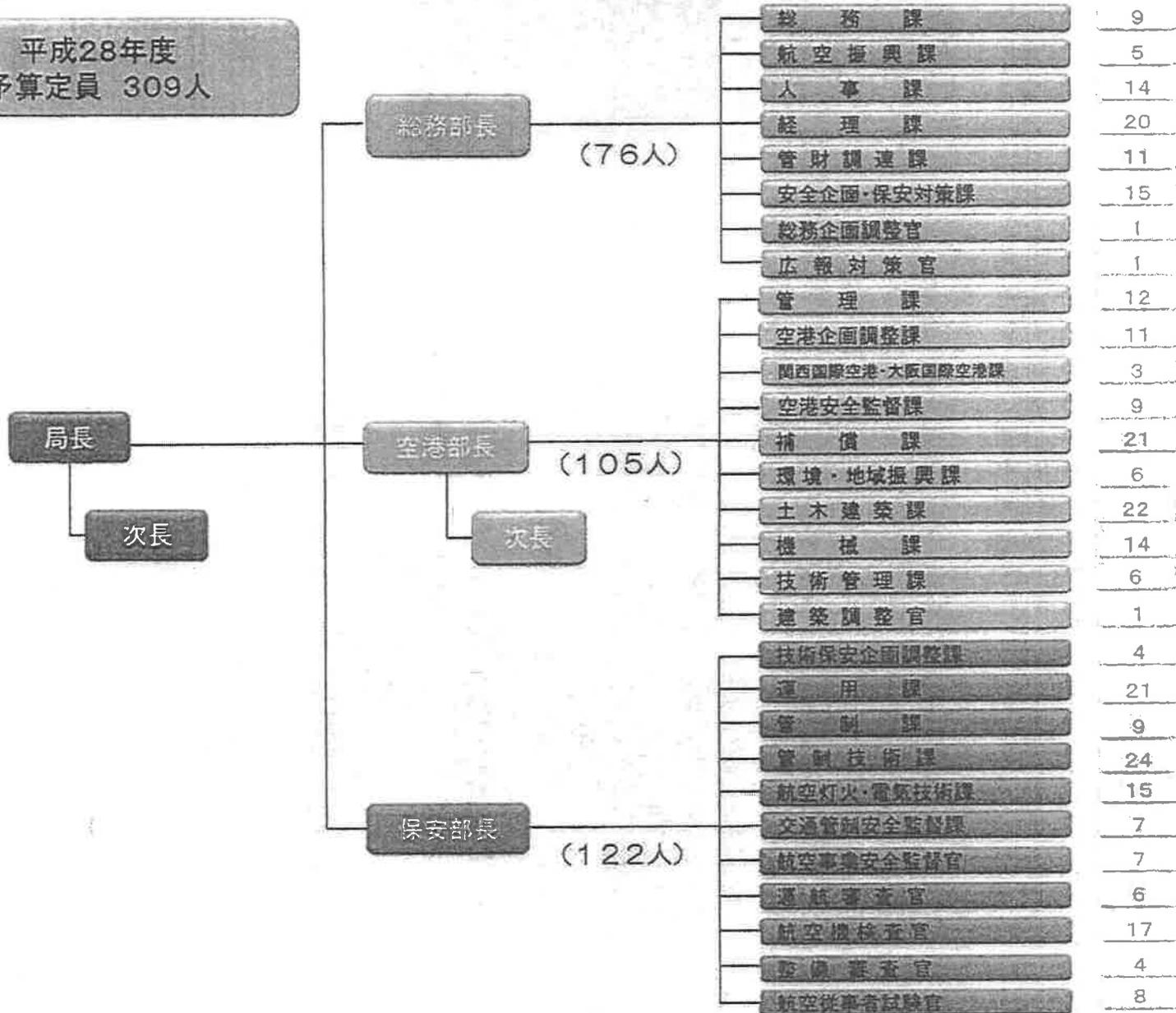
富山県、石川県、福井県、岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県



2

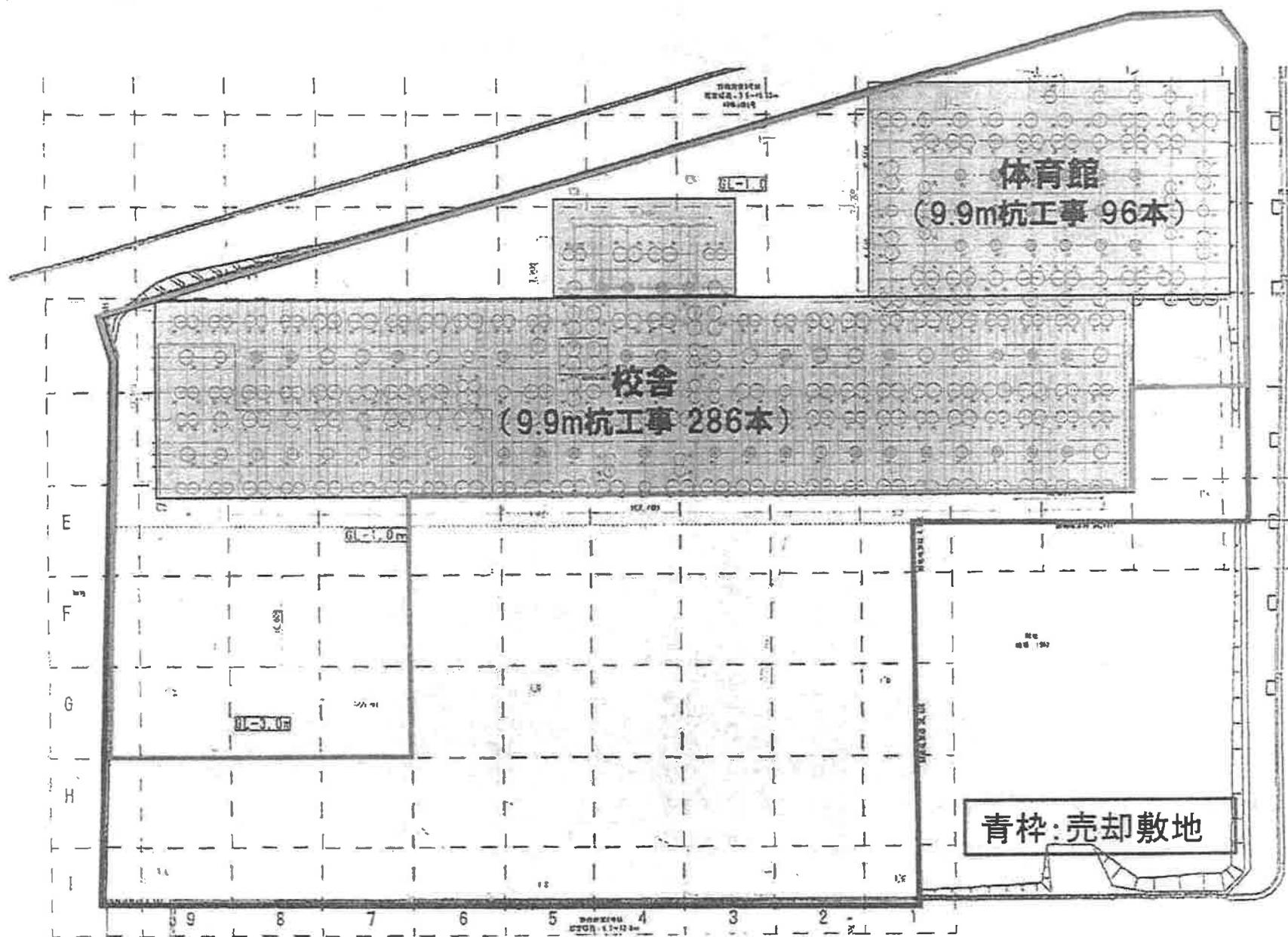
# 大阪航空局の組織

平成28年度  
予算定員 309人



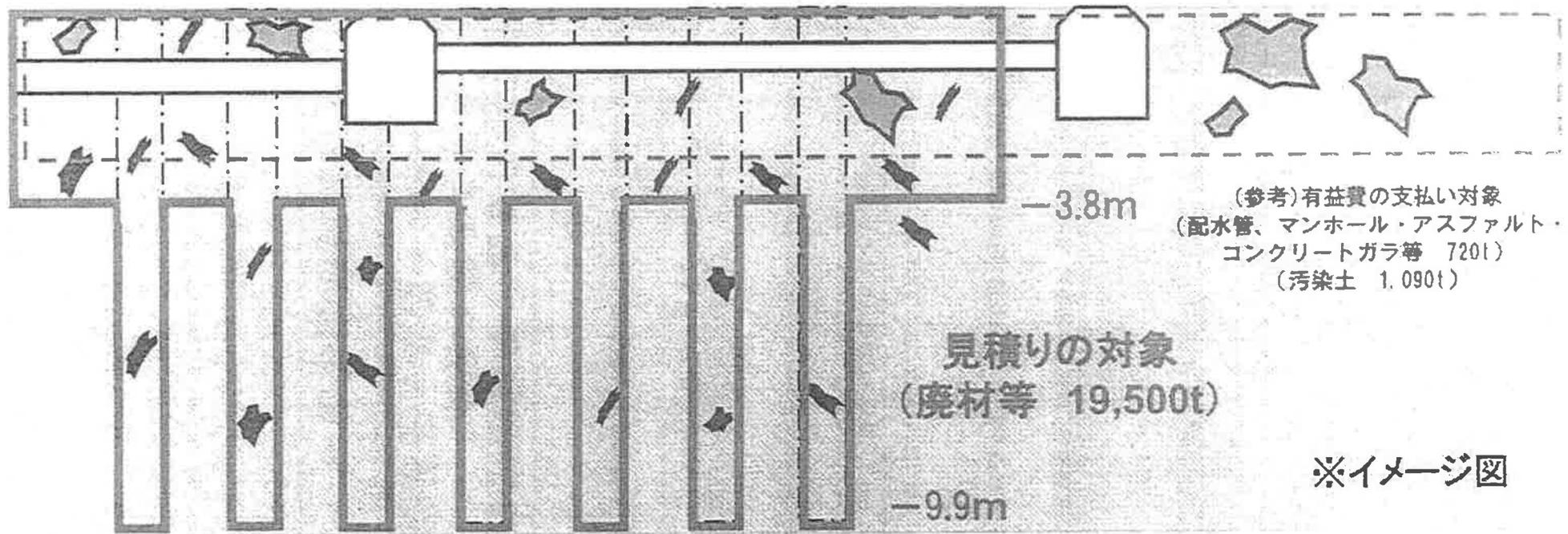
6

(平面図)



4

(断面図)

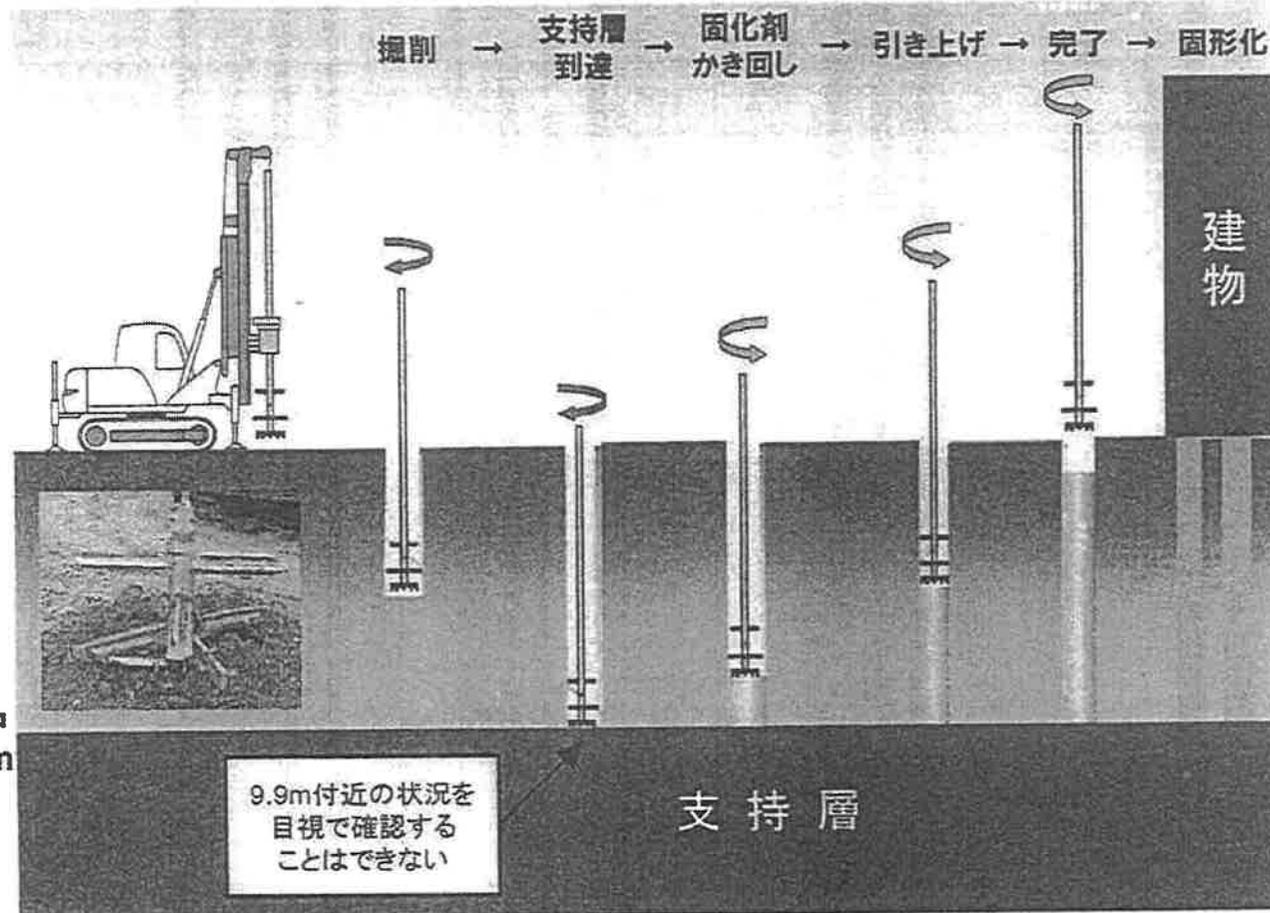


# 柱状地盤改良工事について

地面を掘削した後、セメント系固化材を注入し、地中に柱状の安定構造物をつくる工法

## 〈特徴〉

- ・軟弱な地盤にも適している(支持層と杭構造物で建物の沈下を防ぐ効果)。
- ・掘進後に既製の杭を打ち込む工法に比べ、工期が短い。



ドリルで掘り始めると、土がほぐれて地表に溢れ出る(盛り上がり土)。これをパワーショベル等で除去し、邪魔にならない場所へ積み代えながら作業を行う。



溢れた土



## 杭部分(9.9m)について

事実関係	確認手段	大阪航空局における判断
① 大量の廃材等を目視で確認	・国職員による現地確認 (平成28年3月14日)	・前年11月の現地調査では廃材等 が確認できなかったことから、9.9 mの掘削工事中に大量の廃材等 が出てきたものと判断
② 9.9mの掘削工事中に廃材 等が出てきた事実	・工事関係者の証言 (平成28年3月14日) ・工事写真①～⑭	・9.9mの杭掘削工事中に廃材等 が出てきたものと判断
③ 掘削を終えた掘削機の先端 部に絡みつ়くほどの廃材等 が存在	・工事写真 ①⑦	・地下9.9mの深さまで、廃材等が 存在していると判断
④ 昭和40年代初頭まで池や 沼で、その後宅地化	・土地履歴等調査等 (平成21年8月)	・池や沼だった頃に、相当量の廃材 等が蓄積されたと推察



「地下9.9メートルの深さまで廃材等が大量に存在する」と判断。

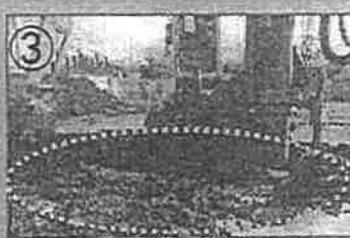
# 改良杭施工中の状況 【工事写真(工事関係者より入手)】



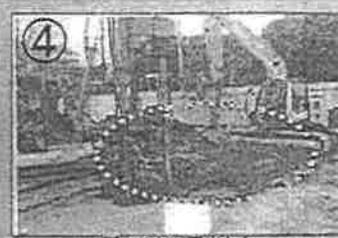
① 掘削後 (先端部に絡みつく廃材等)  
【H28.3.1】



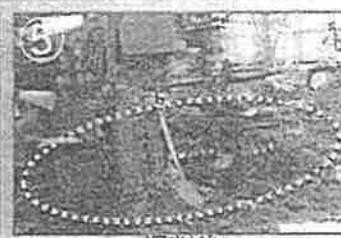
② 掘削中  
【H28.2.24】



③ 最深部掘削中  
【H28.2.16】



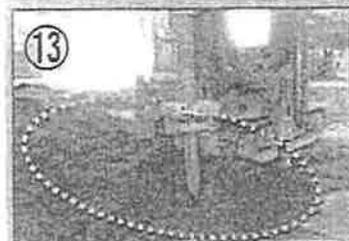
④ 最深部掘削中  
【H28.2.26】



⑤ 掘削後  
【H28.2.26】

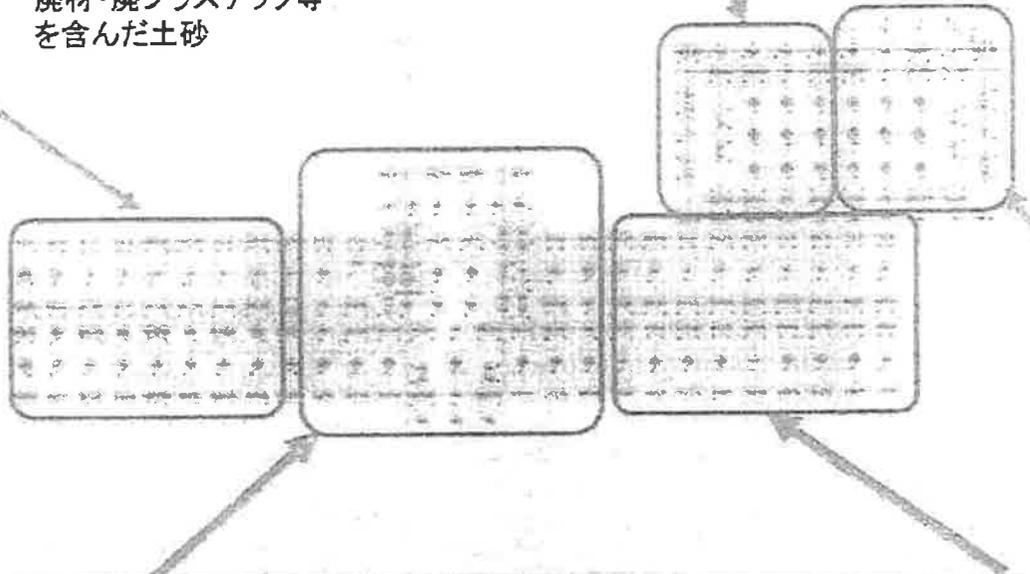


⑭ 掘削後  
【H28.2.12】



⑬ 最深部掘削中  
【H28.3.1】

<凡例>  
廃材・廃プラスチック等  
を含んだ土砂



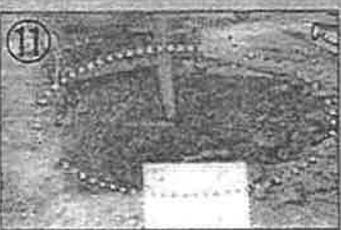
⑥ 最深部掘削中  
【H28.2.26】



⑦ 掘削後 (先端部に絡みつく廃材等)  
【H28.2.17】



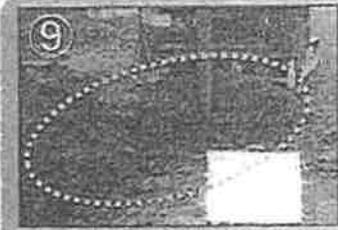
⑫ 掘削後  
【H28.2.17】



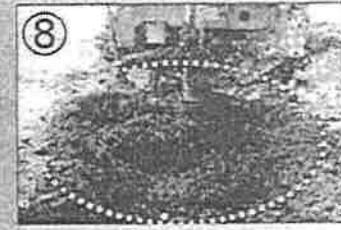
⑪ 最深部掘削中  
【H28.2.17】



⑩ 掘削中  
【H28.2.9】



⑨ 最深部掘削中  
【H28.2.29】

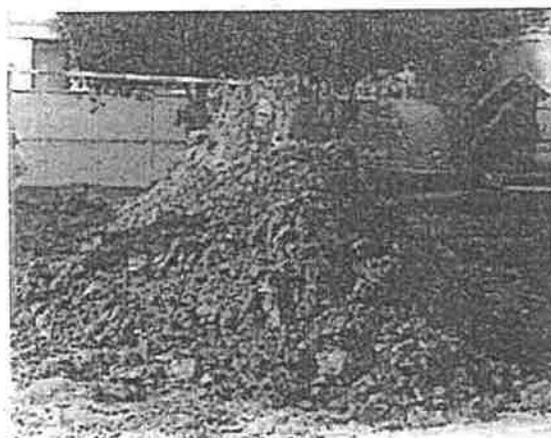


⑧ 掘削中  
【H28.2.10】

# 混入率(47.1%)について

事実関係	大阪航空局における判断
<p>① <u>地下構造物状況調査(概ね3m地点)</u></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 68箇所を試掘、28箇所で廃材等を確認</li><li>・ 28箇所の廃材等混入率を算出</li></ul> <p>→ 平均値が「47.1%」</p>	<p>・ ①、②、③の写真(下記)を突合させた結果、<u>廃材等を含む土壌が同じような様相を呈していることを確認</u></p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>本件土地の地中における廃棄物の混入率は「47.1%」と判断</p>
<p>② <u>杭掘削工事(9.9m)</u></p> <p>(平成28年2月～3月)</p>	
<p>③ <u>事業者による試掘(3.8m)</u></p> <p>(平成28年3月25日・30日)</p>	

①



(平成22年の地下構造物状況調査より)

②



(平成28年2月10日、工事関係者撮影)

③



(平成28年4月5日、大阪航空局職員撮影)